

令和7（2025）年度 宝塚医療大学 入学試験

一般選抜 前期β日程 問題

国語

問題は指示があるまで開けないでください。

【注意事項】

- 1 問題冊子、解答用紙に受験番号（7桁）・名前を記入してください。
- 2 問題冊子は全12ページ（問題は2ページから12ページ）です。解答用紙は別になっています。不良の場合は手を挙げて知らせてください。
- 3 解答はすべて解答用紙の所定欄に記入してください。
- 4 句読点も字数に含めます。
- 5 問題用紙の余白等を利用して構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 6 試験終了後、問題用紙、解答用紙とも回収しますので持ち帰らないでください。

	受験番号	名前

【一】 次の文章を読んで、あとの問一～問六に答えなさい。

著作権の都合上、問題文の掲載をしております。

参考のため、設問は掲載しております。

著作権の都合上、問題文の掲載をしております。

参考のため、設問は掲載しております。

著作権の都合上、問題文の掲載をしておりません。

参考のため、設問は掲載しております。

著作権の都合上、問題文の掲載をしております。  
参考のため、設問は掲載しております。

(本田和子『フィクションとしての子ども』による。一部改変)

語注

(注1) 小浜逸郎 ……日本の評論家。

(注2) インフォーマント ……情報提供者のこと。

問一 本文中の傍線部1「さながらのものとして」という言葉の意味として最も適切なものを次の選択肢から選んで記号で答えなさい。

- ア 実体験として
- イ 中間的なものとして
- ウ そっくりそのままに
- エ まるで自身の所有物であるかのように
- オ 完全無欠なものとして

問二 本文中の傍線部2 「異文化」理解と通底する」という言葉の意味として最も適切なものを次の選択肢から選んで記号で答えなさい。

ア 「異文化」理解とは全く相容れない

イ 「異文化」理解を発展させたものである

ウ 「異文化」理解とは無関係である

エ 「異文化」理解と根本的な部分で共通性を有する

オ 「異文化」理解とは似て非なるものである

問三 本文中の空欄1～3に入れるのに最も適切なものを次の選択肢からそれぞれ選んで記号で答えなさい。選択肢は一度ずつしか使用してはいけません。

ア 批評的      イ 楽観的

ウ 社交的

エ 具体的

オ 抽象的

カ 相似的

キ 補完的

問四 本文中の傍線部3 「こうした「子ども」とはどのような「子ども」のことか、最も適切なものを次の選択肢から選んで記号で答えなさい。

ア 個体としての「子ども」

イ 自分の目の前にいる子どもらしい「子ども」

ウ 大人との差異において分類可能となる、一般論として認識される「子ども」

エ 古来から時代と文化によって産出され変遷をへてきたイメージとしての「子ども」

オ かつて「子ども」であった現在の大人たちが自身の「子ども」だった頃の体験を元に掘り起こしたイメージとしての「子ども」

問五 本文中の傍線部4「子ども」を異文化視する」とはどのようなことを言うのか、最も適切なものを次の選択肢から選んで記号で答えなさい。

ア「子ども」を独自の文化と生活をもった自己完結的なカテゴリーに属する存在であるととらえること。

イ 異なる文化をもつ「子ども」を、大人の文法によってとらえ接触すること。

ウ「子ども」の大人とは決定的に異なる特性を主題化すること。

エ「子ども」を成熟していない大人・文明社会の「未開人」であると見るのではなく、異なるカテゴリーとしてとらえること。

オ「子ども」と具体的な日常を共に生きて相互に交流しつづけるなかで「子ども」と大人との差異は無視して共通性のみを探ること。

問六 次のア～エのうち、本文の内容とあっているものには○を、あっていないものには×を答えなさい。

ア 親や教師は「子ども」と接しているが大人との差異については無自覚である。

イ 大人は「大人」というカテゴリーのなかで自身をとらえるうち、いつしかそのカテゴリーと「私」という個体とを同一視して「私ども大人は」という言い方で「私という個人」を語ってしまう。

ウ「子ども」が生きる世界をそのまま子どもの目で見て理解することは大人には不可能である。

エ 未開社会とは西欧型文明社会と比して「未だ開けざる社会」という意味であり、いずれは西欧型近代知の恩恵を受けて成熟した文明社会となる可能性が高いため、西欧型文明社会の「子ども」であると言うことが出来る。

【二】 次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

著作権の都合上、問題文の掲載をしております。

参考のため、設問は掲載しております。

(島田雅彦『いまを生きるための教室 死を想え 国語・外国語』による。一部改変)

語注

(注1) ザビエルや黒船……戦国時代に日本にやってきたイエズス会の宣教師フランシスコ・ザビエルおよび、室町時代末期から江戸時代末期にかけて、日本を来訪した欧米諸国の艦船の総称。

問 本文中の傍線部「ザビエルや黒船が日本に来た頃と較べたら、日本語はあらゆることを表現できるようになった」とありますが、日本語があらゆることを表現できるようになった理由を本文中の言葉を用いて七十字以内で書きなさい。ただし、「日本語」、「多様性」、「恩恵」という三つの言葉を必ず使用しなさい。

【三】 次の①～⑤の文中の二重傍線部のカタカナを漢字で書きなさい。

- ① 自然に対するイケイの念。
- ② 新商品の予約の電話がサットウする。
- ③ 大地震で道路がスندانされた。
- ④ 文明からカクゼツされた未開のジャングルの奥地。
- ⑤ 松尾芭蕉のハイクに感銘を受ける。

【四】 次の①～⑤の文の□に入る漢字一字を答えなさい。

- ① 七福□は室町時代の末期に始まった信仰とされる。
- ② 危ないところを間□髪で助かった。
- ③ 衣□住の生活の基盤を整える。
- ④ 物が少ない殺風□な部屋だ。
- ⑤ ご在住の□町村の名称をアンケート用紙にご記入下さい。

【五】 次の①～④の四字熟語を完成させるために○○にあてはまる最も適切な語を、ア～オから一つずつ選んで、記号で答えなさい。

① 問答○○

ア：無視　イ：無用　ウ：無縁　エ：回避　オ：万丈

例：敵の兵士が問答○○で襲い掛かってきた

② ○○転倒

ア：主客　イ：論理　ウ：千変　エ：経緯　オ：因果

例：あなたの考えは○○転倒もはなはだしい

③ ○○褒貶

ア：一縷　イ：爛漫　ウ：断行　エ：毀誉　オ：首尾

例：○○褒貶は世の常のことである

④ 捲土○○

ア：術数　イ：報復　ウ：扼腕　エ：不屈　オ：重来

例：捲土○○を期してひたむきに努力を続ける

【六】 次の傍線部①～④の意味について最も適切なものを、ア～ウから一つずつ選んで、記号で答えなさい。

問一 私の兄はアイドルに①うつつをぬかしている。

ア 恋をして舞い上がってしまったている  
イ 夢中になってほかのことには見向きもしない  
ウ まったく興味を示さない

問二 ② 根も葉もない噂を信じてはいけません。

ア まったく根拠の無い  
イ 相手を陥れようとして流した  
ウ 世間一般に広く誤解されている

問三 彼女がデートの待ち合わせにいつまでたっても来ないので③しびれを切らして帰ってきた。

ア あきらめて  
イ 心配になって  
ウ 待ちくたびれて

問四 ④ もつたいを付けないで早く要件を言いなさい。

ア 重々しく大げさに振舞わないで  
イ 興奮しないで  
ウ 嘘を付かないで

解答

【一】問一  
ウ 6点

問二  
エ 6点

問三  
1 カ  
2 エ  
3 ア  
各3点

問四  
ウ 7点

問五  
エ 7点

問六  
ア ×  
イ ○  
ウ ○  
エ ×  
各3点

【二】問

た	日	こ	、	先
か	本	し	誤	祖
ら	語	ら	解	た
。	は	え	、	ち
	多	て	対	が
	様	き	決	様
	性	た	を	々
	を	恩	通	な
	持	恵	じ	体
	つ	の	て	験
70	よ	お	、	、
12点	う	か	少	試
	に	げ	し	行
	な	で	ず	錯
	な	、	つ	誤
60				15

【三】  
① 畏敬  
② 殺到  
③ 寸断  
④ 隔绝  
⑤ 俳句  
各3点

【四】  
① 神  
② 一  
③ 食  
④ 景  
⑤ 市  
各2点

【五】  
① イ  
② ア  
③ エ  
④ オ  
各2点

【六】  
① イ  
② ア  
③ ウ  
④ ア  
各2点

出題のねらい

本学の国語の問題はすべて現代文を題材としています。

【一】は評論文の指示語が指す内容を問う問題や、適切な接続詞を選択させる問題、本文を要約する記述問題などを出題しました。【二】【三】では熟語の漢字を問う問題で知識力を問いました。【四】は四字熟語の知識、【五】は慣用句の意味を問う問題です。

選択式問題や記述式問題をまんべんなく出題し、論理的に文章を読み解く力を評価しました。日頃の現代文の授業を丁寧に行うことが何よりも受験対策となるでしょう。